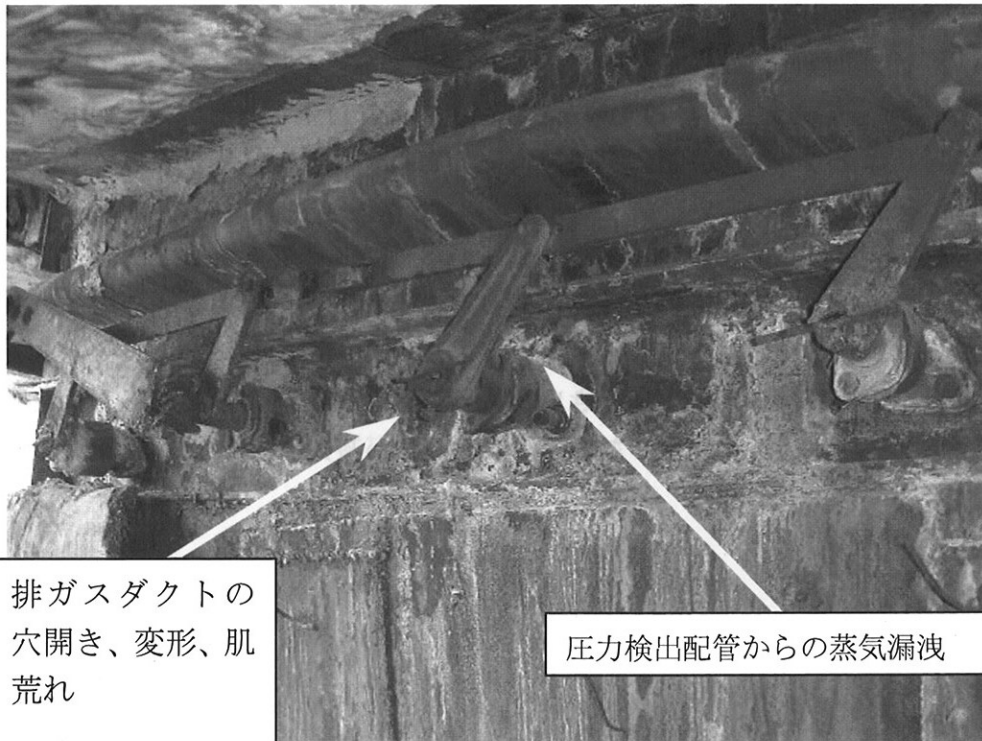




Picture 5.1-6 6号ボイラー天井部の割れ

(炉内の赤熱が見える)



排ガスダクトの  
穴開き、変形、肌  
荒れ

圧力検出配管からの蒸気漏洩

Picture 5.1-7 1号機排ガスダクト

(保温を外した状態、かなりの劣化度合いであり、至る所に腐食による穴開きあり)

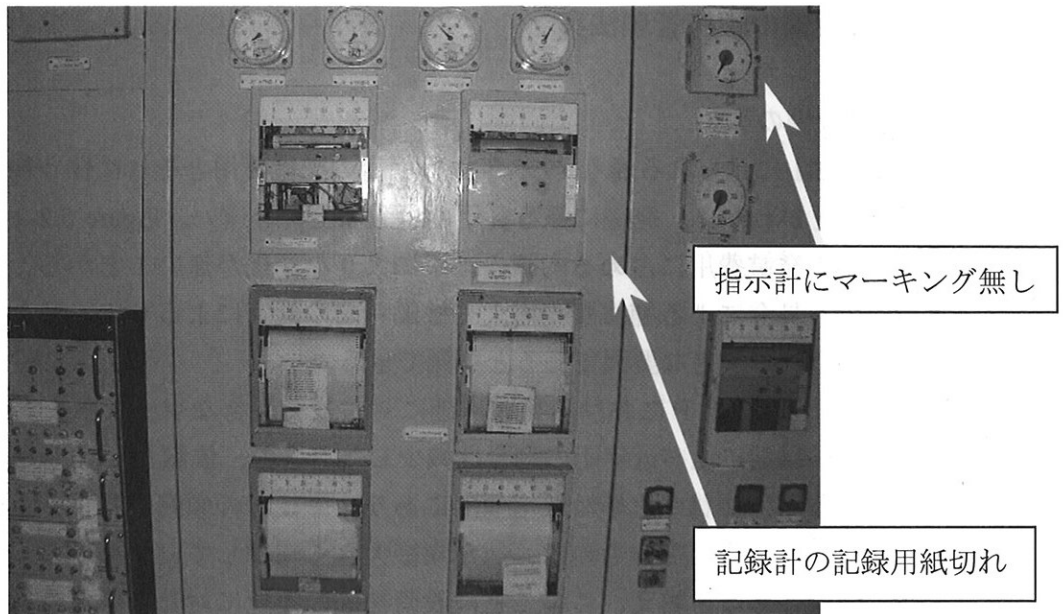


Picture 5.1-8 1号機中圧タービン動翼最終段

## 2) 電気制御設備

機械装置同様経年劣化は認められ、電気設備に付属する機械装置の不具合による緊急停止はあるものの、電力供給に支障を来すような電気設備事故に発展したケースは報告されていない。

制御装置は設備の劣化及び故障箇所が多く、制御装置として機能を発揮している部分は少なく、運転操作は手動に頼っているのが実情である。またケーブルトレイの劣化が激しく、原形をとどめていないだけでなく、ケーブルの劣化も見受けられ地絡、短絡故障の可能性が大きい。絶縁抵抗測定が必要である。地絡・短絡によるケーブル火災が発生した場合には、被害が甚大になると思われる。



Picture 5.1-9 6号機中操指示・記録計



Picture 5.1-10 6号機バーナー周辺の各種ケーブル

(ケーブル類が埃まみれで、外皮の劣化が観られる)